

# Bさん【就労継続B型】

【プロフィール】 Bさん 20代 女性 無職

【障害名】 高次脳機能障害（記憶、遂行機能、注意）

【障害原因】 小脳出血

【手帳】 身体障害者手帳 2級

【家族構成】 両親、弟（同居）

【経緯】 X年発症、X+3年より1年半生活介護利用（週1日）

家で調理をしたいとの希望で11か月間の生活訓練を実施

【主な課題】

見当識および短期記憶の低下 発動性の低下

「何ができるかわからない」という自己理解の不十分さ

# 支援内容

## (1) 日常生活（移動訓練）の定着

→日常生活訓練

## (2) 対人コミュニケーションの改善

→学習ワーク、グループワーク

## (3) 職業訓練への準備性

→作業訓練、個別OT

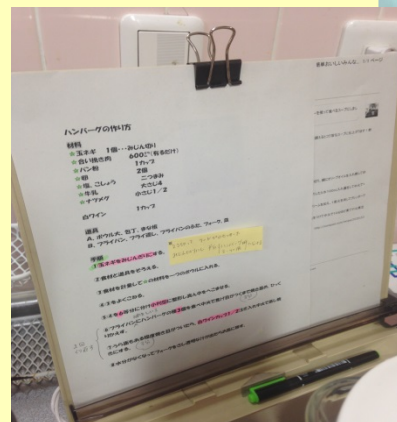
## (4) 自分に合った作業をみつける

→園芸訓練、調理訓練、就労準備訓練

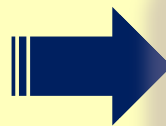
## (5) スケジュールやメモの活用

→スケジュール管理

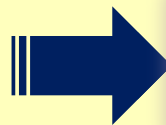
## (6) 地域事業所での体験実習



# 支援結果



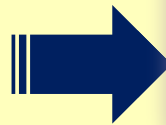
**意欲、発動性、作業耐性の向上  
集中力の改善**



**手順書を確認しながら、他者と協力  
した作業ができた**



- ① 自宅近くの就労継続支援 B 型事業所で  
5 日間の体験実習（喫茶店）
- ② 別地域の就労継続支援 B 型事業所で  
5 日間の体験実習（クッキー作り、軽作  
業）



**自宅から電車とバスを乗り継ぎ 1 時  
間程度かかるが、得意な作業種・事  
業所の雰囲気も良く、利用開始と  
なった**

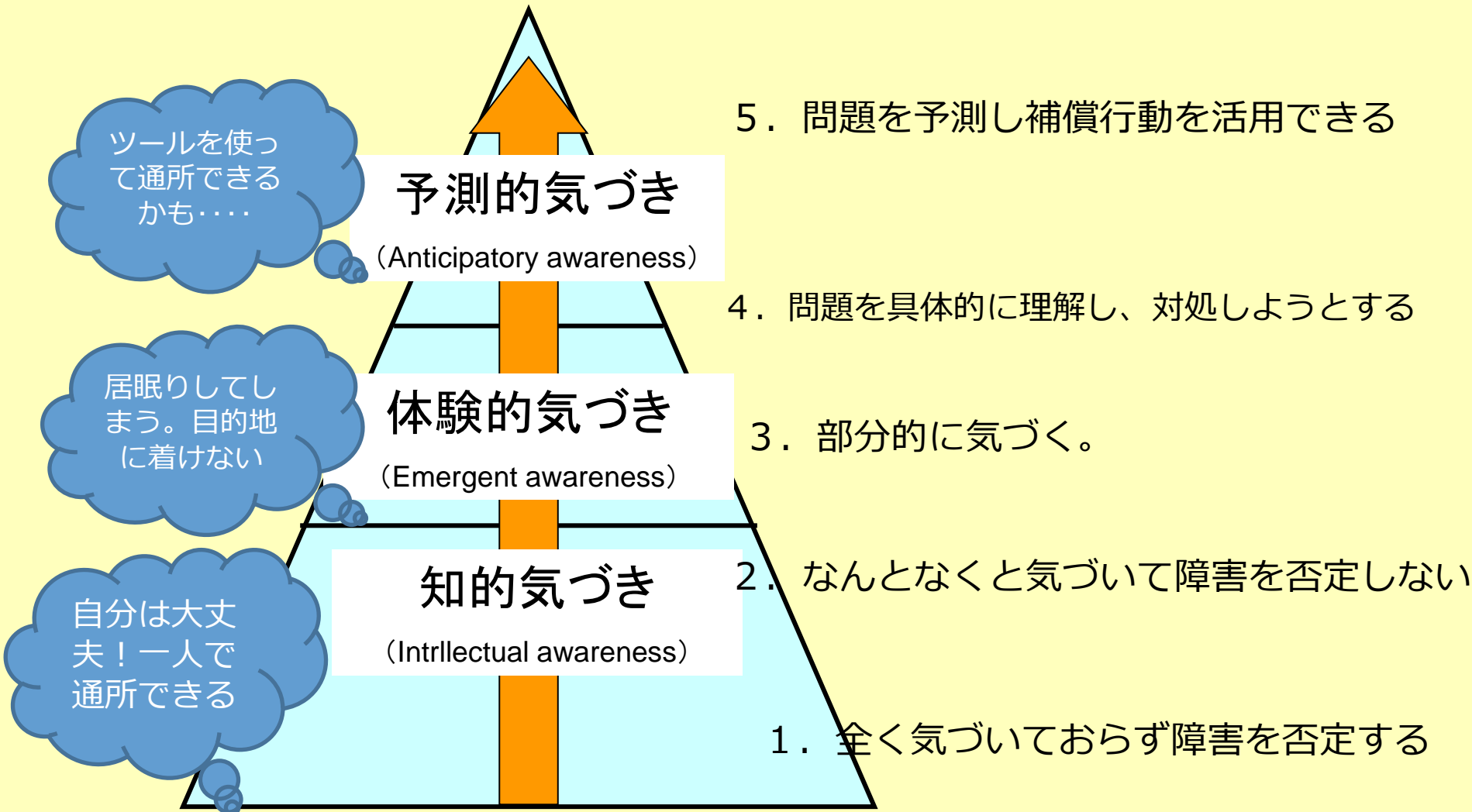
# 平成25年度訓練終了後の帰結(高次脳)

平成25年度の平均利用期間 → 約11ヶ月(最長596日 最短147日)

形 態	人 数	構成比(%)
就 職	2	12.5
復 職 ・ 現 職 復 帰	1	6.25
就 労 移 行 支 援	4	25
職 業 リ ハ セ ン タ ー 入 所	0	0
就 労 継 続 B 型	4	25
家 庭 復 帰	4	25
大 学 院 復 学	1	6.25
小 計	16	100.0

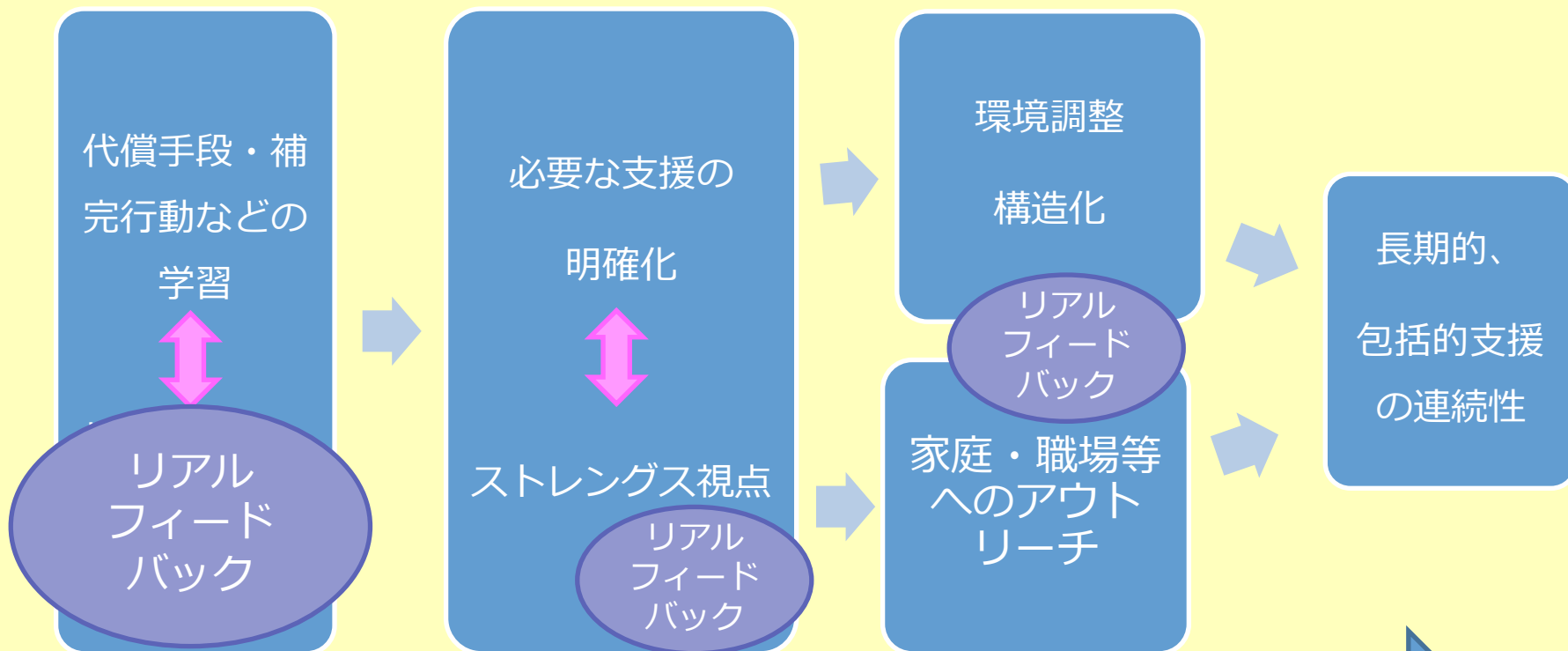
# 障害認識

(Bruce Crossonらによる自己認識の階層)



# まとめ

## 高次脳機能障害のある方の支援のポイント



- ・生活リズムの確立
- ・家族支援（統一した対応、情報提供など）